

「第6回地球女性からだ会議®2020」開催報告

～新しい生活様式から、どう考える？変革時代の女性の人生～



令和2年10月2日、女性の活躍推進と次世代支援を行う一般社団法人シンクパール（東京都千代田区：代表理事 難波美智代）は、衆議院第一議員会館 多目的ホール（東京・千代田区）にて、**第6回地球女性からだ会議®2020**を開催いたしました。毎年、女性からだ会議®は、3月1日から8日までの女性の健康週間と3月8日の国際女性デーに先駆けて3月3日に開催していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の情勢に鑑み、延期しておりました。今回、皆様の安心と安全を第一に新たな生活様式を考慮しながら、従来型のシンポジウムとFacebookライブによる、オンライン配信での同時開催となりました。

シンポジウムには**約80名が参加**。Facebookライブでは、**延べ900名が視聴**しました。今回開催した「地球女性からだ会議®」は、世界の目線で女性の健康を考える機会を創出する5年に1回のシンポジウムです。海外のスーパーモデルからアスリート、江戸時代の武将まで、様々な登壇者と一緒に社会的、科学的根拠に基づいた視点から女性の健康に関する様々なタブーや偏見を乗り越え、オープンに語り合いました。

今後も当社は本事業を通して、予防医療の観点を取り入れた、女性のキャリア設計をサポートすると共に、すべてのいのちが健やかにいきいきと活躍できる社会づくりに取り組んでまいります。

後援の国連人口基金（UNFPA）と供に女性の健康に関する対話プラットフォーム「Let's talk!」を推進するフィランソロピスト、スーパーモデルのナタリア・ヴォディアノヴァさんのビデオメッセージを紹介。また、慶應義塾大学医学部 吉村泰典名誉教授からは、日本の少子化対策を取り巻く環境をビデオメッセージにてお話しいただきました。



特別対談「これからの日本、女性の働き方をどう考える？」では、株式会社トイトマ代表取締役会長の山中哲男氏、香港から中継で内閣府参与、アライアンスフォーラム合衆国公益財団会長の原文人氏が登壇。コロナ禍における女性の就労問題をはじめ、世界から見るコロナ禍での就労、都市部と地方格差などをテーマに対談。「個人がどう考えていくのかを他人任せでなく自分事として考えていく。政府、企業、個人で出来ることが違うが、一番小さいコミュニティ（家族や友人）から自分は何ができるかを考えることで半年後、一年後変わってくる。（山中氏）」「企業は、株主のことばかり考えることがあるが、大事なのは社員、地域社会、仕入先従業員への払い出し（勤労所得）の分配割合が軽視されているのが日本。従業員を豊かにする施策について税法などを活用しながら考える必要がある。（原氏）」とまとめられました。



第1部 変革の時代にみる「令和世代のこれから」では、衆議院議員、前厚生労働副大臣の橋本岳氏、国連人口基金（UNFPA）東京事務所長の佐藤摩利子氏、文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課課長の平山直子氏が登壇。各々の立場やそれに基づいた知見から、個人の健康を考えるうえで整備されている対策やその遂行に伴いどう地域や現場と連携していけるのかを議論しました。「我々が扱っているものは、女性の健康というパーソナルなものはずが、時には政治問題になってしまうこともある。一人ひとりが“これが正しい”と思うものを選択できるように、もし選択できなければ変えていくように努力することも大切。（佐藤氏）」「子供が影響を受ける環境の多くを占めるのが家庭や地域社会。その習慣が子供に伝播する。学校で変えられることはわずかで、家庭や地域も一緒に変容していかないと変わらないと認識してほしい。（平山氏）」「立場を超えて語りあうことが重要だと感じている。そのうえでもう一步のアクションをしてほしい。一人ひとりの一歩も 百人が繋がれば大きな一歩となるはずだ。（橋本氏）」と会話を進めました。





第2部 現代女性のからだを科学する「歴史とスポーツの世界から学ぶ」では、産婦人科医の竹内巧氏、一般社団法人日本パラリンピアンズ協会会長の大日方邦子氏、順天堂大学スポーツ健康学部講師の室伏由佳氏、名古屋おもてなし武将隊®の徳川家康氏が登壇。妊娠、出産をテーマに、ご自身の経験や科学的根拠に基づいたデータから得られた不妊治療の現状など、踏み込んだ議論が繰り広げられました。また、令和の時代から400年遡って蘇った徳川家康氏から、社会的背景や価値観の比較など、女性の身体的なリスクについて語られると、その圧倒的なパフォーマンスに、会場は大いに盛り上がりました。「不妊症は病気である。病院に行くことをためらう人がいまだにいる。早く始めれば早期に治るから早くいらしてほしい。（竹内氏）」「社会で活躍する女性も10~20代からからだの変化をベースにキャリアと合わせて将来をプランニングできる社会が広まってほしい。組織も20代前半で出産を考えられるように社会を作ることが大切。（大日方氏）」「今回のような体験を聞くセッションはたくさん繰り返す必要がある。ウェブで発信できるからこそ、情報をピックアップするリテラシーを上げることが重要。（室伏氏）」最後に「400年前は生きることを詳細に語り合うことはできなかった。生きるためには知識が必要。それを共有しよう！（徳川氏）」と結びました。



第3部 総括「変革時代の女性の人生とからだ」知ること・考えること・選ぶことでは、産婦人科医の重見大介氏、株式会社ヘアーズ取締役副社長の高橋ゆき氏、腫瘍内科医の谷山智子氏がシンポジウムの総括として登壇。「自分は男性だが、産婦人科医として、女性の方が支援されるべきだと思っている。女性のからだについて知る仕組みをみんなで作っていききたい。子宮頸がんやHPVワクチンの正しい知識の共有を目的とした「みんなびび」というプロジェクトを医療従事者有志ボランティアではじめた。こういった動きも関心を持っていただけると嬉しい。（重見氏）」「感じること、知ることが本当に大切。こんな悩みを抱えているとアウトプットすることで、誰かが助けてくれる。一緒に悩み助けあひながら、女性のご機嫌に楽しく過ごせる社会をみんなと作っていききたい。（高橋氏）」「健やかにハッピーに生きることが、世界中のいのちのバトンにつながる。自分の在りたい姿に向かって、思っていることを実現していってほしい。（谷山氏）」そして、女性のからだを知る機会をもっと増やしていくためにも、シンクパールの「女性からだ会議®」がこれからも開催できるようにと願いを込めて、シンポジウムは締めくくられました。



「女性からだ会議®大賞 2020」授賞式では、社内外において、次世代女性の健康や予防医療に取り組む活動や団体から選ばれたノミネート 10 団体のなかから大賞、特別賞を発表しました。

大賞には、株式会社ポーラ、特別賞には楽天メディカルジャパン株式会社が受賞しました。株式会社ポーラでは、社員とビジネスパートナーを対象に実施する「がん共生プログラム」において、「がんに対する理解を深める」「安心してがんと向き合う」「経験を大切に学ぶ」という 3 つのテーマをもとに、がんに罹患しても自分らしく働くことができるサポート体制がある点などが評価されました。

「女性からだ会議®大賞 2020」

【大賞】 株式会社ポーラ

【特別賞】 楽天メディカルジャパン株式会社

【優秀賞】 あすか製薬株式会社、エイベックス・マネジメント株式会社、サントリーホールディングス株式会社、全日本空輸株式会社、日本航空株式会社、野村證券株式会社、富士通株式会社、ヤフー株式会社

※五十音順





【総評・プレゼンター】

木村弥生（衆議院議員、前総務大臣政務官、乳がん・子宮頸がん検診促進議員連盟事務局長）

水戸重之（TMI 総合法律事務所パートナー弁護士、株式会社湘南ベルマーレ監査役、一般社団法人 PHR 普及推進協議会理事）

村上裕子（都・村上裕子きもの教室代表、HAPPY KIMONO PROJECT 主宰）



【ご祝辞】

- ・野田聖子（衆議院議員、元総務大臣、自由民主党幹事長代行、超党派乳がん・子宮頸がん検診促進議員連盟会長）
- ・武見敬三（参議院議員、元厚生労働副大臣、世界保健機関（WHO）ユニバーサルヘルズカバレッジ（UHC）親善大使）
- ・上野宏史（衆議院議員、自由民主党副幹事長、元厚生労働大臣政務官）
- ・武部 新（衆議院議員、元環境大臣政務官兼内閣府大臣政務官、がん教育推進議員連盟事務局長）
- ・山下雄平（参議院議員、元内閣府大臣政務官）
- ・牧島かれん（衆議院議員、自由民主党青年局長、元内閣府大臣政務官）
- ・川田龍平（参議院議員、参議院行政監視委員長）

一般社団法人シンクパールは、2014年より本事業を実施。今後も企業や教育現場向けの女性の健康教育と予防医療の推進を行うことで、誰もが健やかでいきいきと活躍できる社会づくりを目指してまいります。なお「NIPPON女性からだ会議[®]2021」は、2021年3月3日（水）衆議院議員会館国際会議室にて開催予定。また、次回「地球女性からだ会議[®]2025」開催地は大阪を予定しています。

第6回 地球女性からだ会議[®]2020

日時：2020年10月2日（金）14:00-18:00

会場：衆議院第一議員会館 多目的ホール

<プログラム>（オンライン開催）

14:00- キーノートスピーチ（動画メッセージ）

ナタリア・ヴォディアノヴァ（フィランソロピスト・スーパーモデル）

「平成から令和へ」- 日本の少子化対策を取り巻く環境と変化 -

- ・吉村泰典（慶應義塾大学医学部名誉教授、前内閣官房参与、元日本産科婦人科学会理事長）

14:25- 特別対談「これからの日本、女性の働き方をどう考える？」

- ・原文人（内閣官房参与、アライアンスフォーラム合衆国公益財団会長）
- ・山中哲男（株式会社トイトマ代表取締役会長）

14:50- 第一部 変革の時代にみる「令和世代のこれから」

- ・橋本岳（衆議院議員、前厚生労働副大臣）
- ・佐藤摩利子（国連人口基金（UNFPA）東京事務所長）
- ・平山直子（文部科学省 初等中等教育局 健康教育・食育課課長）

15:20- 第二部 現代女性のからだを科学する「歴史とスポーツの世界から学ぶ」

- ・竹内巧（産婦人科医、リプロダクションクリニック東京院長、元米国コーネル大学医学部産婦人科生殖医療センター助教授）
- ・大日方邦子（一般社団法人日本パラリンピアンズ協会会長
1998年長野・2006年トリノ冬季パラリンピックアルペンスキー金メダリスト）
- ・室伏由佳（順天堂大学スポーツ健康学部講師、株式会社 attainment 代表
2004年アテネオリンピック陸上競技女子ハンマー投代表）
- ・徳川家康（名古屋おもてなし武将隊[®]）

15:55- 「女性からだ会議大賞2020」授賞式

17:30- 総括「変革時代の女性の人生とからだ」- 知ること・考えること・選ぶこと -

- ・重見大介（産婦人科医、公衆衛生学修士東京大学大学院博士課程、産婦人科オンライン代表）
- ・高橋ゆき（株式会社ベアーズ取締役副社長、一般社団法人全国家事代行サービス協会会長）
- ・谷山智子（腫瘍内科医）

主催

一般社団法人シンクパール

外務省主催第6回国際女性会議 WAW!公式サイドイベント

メディアパートナー

ルナルナ（株式会社エムティーアイ）

ハースト婦人画報社

協賛

株式会社アンド・フォース

株式会社ミュゼプラチナム

医療法人財団今井会足立病院

社会医療法人博愛会相良病院

ハリウッド化粧品

MEDERI 株式会社

後援

内閣府男女共同参画局

文部科学省

厚生労働省

国連人口基金（UNFPA）

東京都

公益社団法人日本医師会

公益社団法人日本産科婦人科学会

公益社団法人日本産婦人科医会

公益社団法人日本婦人科腫瘍学会

公益社団法人日本臨床細胞学会

公益社団法人東京都医師会

特定非営利活動法人日本医療政策機構（HGPI）

がん対策推進企業アクション(厚生労働省委託事業)

【問い合わせ先】

一般社団法人シンクパール

〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目12-4 6階

電話：03-6369-8154 FAX：03-4333-0437 E-mail：info@thinkpearl.jp